いちのみや市制 100 周年関連事業　特別展

生誕 100 年　回顧展
石本　正

石本正《舞妓》1968(昭和 43)年、浜田市立石正美術館蔵

1920（大正 9）年、現在の島根県浜田市三隅町に生まれた日本画家・石本正（1920-2015）。京都を拠点としながら創造美術に参加、後には代表的な作品テーマとなった「舞妓」、「裸婦」に見られる体温や肌の質感、精神性を感じさせる人体表現が高く評価されました。この度、2020 年の生誕 100 年を記念し、画家の全画業を紹介する初の大回顧展を開催します。

本展では、これまで門外不出とされてきた浜田市立石正美術館の所蔵作品を中心に、石本の青年時代から最晩年までの 75 年におよぶ画業の全貌を代表作から辿ります。さらに絶筆となった《舞妓》、新たにアトリエから見つかった素描のほか、文豪・川端康成との親交を示す挿絵などの初出資料も展示。地位や名声を求めず、最期の瞬間まで絵画一筋に生きた石本の生涯と創作の原点を紹介します。（展示作品：日本画、素描約 80 点）

開催概要

会　　期　令和３年９月 11 日(土)－１０月２４日(日)　４４日間（開館３７日）
※9 月 11 日（土）は午前 10 時より内覧会、正午から一般公開

開館時間　午前 9 時～午後 5 時（入場は午後 4 時３０分）

休　　館　毎週月曜（ただし 9 月 20 日(月･祝)は開館)、9 月 21 日(火)、24 日(金)

会　　場　一宮市三岸節子記念美術館　一般展示室および実習展示室
〒494-0007　愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1

入 場 料　一般１，０００円、大高生５００円、中学生以下無料
※コレクション展（常設展）観覧料を含む
※20 名以上の団体は 2 割引
※一宮市内の満６５歳以上で住所・年齢の確認ができる公的機関発行の証明書等を提示された方、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方（ミライロ ID 可、付添人 1 人を含む）無料

主　　催　一宮市三岸節子記念美術館、朝日新聞社

特別協力　浜田市立石正美術館

協　　賛　NISSHA 株式会社

巡　　回　2021 年 4 月 2 日(金)～5 月 24 日(月)　島根県立美術館（松江市）【会期終了】
2021 年 9 月 11 日(土)～10 月 24 日(日)　当館
2021 年 10 月 30 日(土)～12 月 19 日(日)　浜松市秋野不矩美術館
2022 年 1 月 25 日(火)～4 月 10 日(日)　浜田市立石正美術館

展覧会の見どころ

1．生誕 100 年を記念した初の大回顧展

本展覧会は 2020 年の生誕 100 年を記念した、石本正の全画業を紹介する初の大回顧展です。石本は生前より“常に今にこだわりたい”という思いから新作発表展として展覧会を開催していましたが、画業を振り返る回顧展については生きている間は開催しないと固く決めていました。そのため、全画業を代表作でたどる大規模回顧展は今回が初。画業初期の油彩から代表作の数々、そして絶筆となった《舞妓》までが一堂に会します。

2．門外不出の作品が初の全国巡回

石本正の故郷・島根県浜田市に位置する浜田市立石正美術館の所蔵作品は、これまで石本との取り決めにより他館への貸出しはしてきませんでした。その門外不出となっていた作品が、生誕 100 年を記念した本展では全国を巡回します。当館での展示では浜田市立石正美術館所蔵作品が大多数を占め、すべてが東海地方初出展となりました。

3．アトリエから新たに見つかった初公開の素描も

石本のアトリエからは、これまで表に出されてこなかった約 12,000 点に及ぶ素描やスケッチが見つかりました。積み上げると約 4 メートルに及んだというその素描の中から、石本の代表的モチーフ「裸婦」を描いたデッサン等を初公開。このほか、画業最初期に描かれた油彩作品など、初公開となる作品を多数お披露目します。

4．文豪・川端康成との深い親交を示す貴重資料を初公開

『雪国』、『伊豆の踊子』などの代表作で知られる文豪・川端康成。川端は石本の作品を高く評価し、アトリエを訪ねるなど二人の間には深い親交がありました。また石本も、当時出版予定だった『伊豆の踊子』（豪華版、牧羊社）の挿絵を川端から依頼されていたことを語っています。本展覧会では、石本が川端文学の登場人物をモチーフに描いた《二人の踊子》とともに、展覧会に向けた調査の中で見つかった『伊豆の踊子』挿絵に関する新出資料を展示します。

関連事業

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、予告なく中止・変更となる場合があります。
最新情報は当館 SNS をご確認ください。

◆内覧会

日時／9 月 11 日(土）午前 10 時から正午（一般公開は正午から）

◆スライドトーク

日時／9 月 11 日(土)　午後 2 時から（開場 1 時 3 0 分）
講師／横山由美子氏（浜田市立石正美術館　主任学芸員）
会場／一宮市三岸節子記念美術館　講義室
定員／60 名（先着）
参加費／無料
申込み／不要（当日直接会場）

◆講演会

日時／10 月 2 日(土）午後 2 時から
講師／西久松吉雄氏（創画会会員、浜田市立石正美術館 館長）
会場／一宮市三岸節子記念美術館　講義室
定員／60 名（先着）
参加費／無料
申込み／不要（当日直接会場）

◆ワークショップ「挑戦！はじめての日本画」

日時／10 月 9 日(土)、10 日(日)　各日午後 1 時～4 時 30 分
講師／中沢梓氏（大和絵師）
内容／和紙、膠、岩絵具など、日本画に使われている素材に触れ、
その作業工程を学びながら、ひとつの作品を作り上げます。
会場／一宮市三岸節子記念美術館　講義室
対　象／一般（小学生以上。小学 3 年生以下は保護者同伴）
定　員／各 12 名（抽選）
参加費／2,000 円
申込み／9 月 20 日（月祝）午後 5 時（必着）までに、電話もしくはメール、はがきで、
三岸節子記念美術館まで。

◆学芸員によるギャラリートーク

日　時／9 月 19 日(日)、10 月 17 日(日)、各日午後 2 時～
参加費／無料（要観覧券）　　申込み／不要（当日直接会場）

広報素材

高解像度の画像を提供いたします。下記担当までお問い合わせください。

（1）

（2）

（3）

（4）

（5）

（6）

（1） 石本正《のれん》1970（昭和 45）年、個人蔵
（2） 石本正《五条坂風景〈五条坂〉》1950（昭和 25）年、個人蔵（浜田市立石正美術館寄託）
（3） 石本正《鶏頭》1974（昭和 49）年、浜田市立石正美術館蔵
（4） 石本正《紅土の丘》1958（昭和 33）年、浜田市立石正美術館蔵
（5） 石本正《舞妓》1968（昭和 43）年、浜田市立石正美術館蔵
（6） 石本正《黎明》1993（平成 5）年、浜田市立石正美術館蔵

同時開催

◆コレクション展（常設展）「色彩画家のヨーロッパ紀行」

開催期間：7 月 10 日(土)～10 月 31 日(日)

内　　容：ヨーロッパ滞在を経て、三岸節子が描き出した異国の風景画。そこには訪れた各地の表情が華やかに、時には単色で表現されています。節子の足跡をたどりながら、その先々で画家の目が捉えた色彩豊かな風景を紹介します。

連絡先　一宮市三岸節子記念美術館（担当：学芸員 大村、課長補佐 長岡）
〒494-0007　愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1
TEL　0586-63-2892　FAX　0586-63-2893
E-mail　migishi@city.ichinomiya.lg.jp
WEB　http://s-migishi.com/